

曹源寺のヒサカキ (そうげんじのひさかき)

鶴岡市鼠ヶ関字横路甲346

ヒサカキは温暖な地域で生育し照葉樹林でよく見られる樹木である。自生のない本県で存在するのは飛島と曹源寺のものだけで、珍しい種類であると共に曹源寺のヒサカキは巨樹としても価値があるとして、昭和28年に県指定天然記念物に指定されている。

境内の裏には二株のヒサカキが植えられており、南の株の根周りは2.0m、高さ5.26m、北の株の根周りは2.35m、高さ4.57mで、根際は合着しているが先の方はそれぞれ五本立ち、七本立ちになっている。4月の中ごろに白い小さい花を咲かせる。
〔山形県森林協会〕

(案内略図)



山形県海老 天然記念物
曹源寺のヒサカキ
鶴岡市鼠ヶ関字横路甲346
樹高5.26m 根回り2.0m
樹高4.57m 根回り2.35m
昭和28年(1953年)4月24日指定
樹齢不明
備考 樹幹は五本立ち七本立ちに合着している
4月に白い花を咲かせる
山形県森林協会

【森林やまがた138号(2012年3月)記載】